

自治体キャラバンだより 住民の声・願いを自治体へ

2/10 高松市との懇談には 16 団体 25 名、行政からは 14 課 41 名が参加し、前日に会場を大会議室に変更しての開催となりました。2 時間をテーマごとに 4 クールに分けて現場からの実態報告、回答への質疑が行われました。



2/6 三木町と懇談
11 団体 18 名が参加



2/8 善通寺市と懇談
8 団体 12 名が参加



2/8 丸亀市と懇談
11 団体 16 名が参加



2/6 三豊市と懇談
7 団体 10 名が参加



私たち民医連は、地域の様々な団体、共同組織の皆さんとともに、いま広がっている格差と貧困に対抗し、日々の事業活動や相談活動、組合員活動、アンケート活動などを通して地域へのアウトリーチを広げています。毎年県内の全自治体に対して「医療・介護・福祉等に関するアンケート」を実施し、その結果をもとに「社会保障制度の拡充を求める陳情書」を提出し、事前に回答書を文書でいただいた上で、各自治体行政や議会との懇談を「自治体キャラバン」として行っています。例年 10 月～11 月に実施していましたが、今年度は、この 2 月 6 日の三木町を皮切りに 16 日まで、のべ 170 名が参加し観音寺市と直島町を除いた 7 市 8 町を訪問しています。

今年の中心的な懇談テーマは、①新型コロナウイルス感染症に係る施策について～5 類への引き下げを前に ②高齢者の医療費窓口負担、介護保険料、利用料について ③加齢性難聴による補聴器購入費助成 ④保育士配置基準に係る現場の実態と保育士確保 ⑤こどもの貧困対策 ⑥払えない国保料問題、法定外繰り入れ ⑦18 歳までの医療費および小中学校の給食費無料化などです。どの問題でも、各団体や地元住民の皆さんが日頃の取り組みの中で把握している地域の切実な生の声、要求を、他自治体の施策との比較も示しながら届けることで、粘り強く行政の姿勢や認識の変化を作り出しましょう。

大軍拡 改憲阻止 決起集会に参加して

決起集会の学習講演を聞いて岸田政権が、国民が知らない、あまり報道されない中で、戦争まっしぐらの政策を進めていることがよくわかった。すでに 21 年 4 月での日米共同声明の中で、台湾有事、対中国との軍事衝突のさい、集団的自衛権を行使すること、そのために辺野古、馬毛島基地建設を約束していた。結局日本はアメリカの盾となる。大軍拡の軍事費で、敵基地攻撃できるミサイルをたくさん買って、それを置くための火薬庫を沖縄周囲中心に 130 ヶ所増設する。基地をつくれればそこは攻撃される可能性も高く私たちが戦争にまきこまれるのは、当たり前。恐ろしい現実を迎えるための買い物をするのかと思うと腹がたちました。

また、敵基地を探知するための衛星を飛ばしてアメリカと連動し、軍事衛星を確立させる。まさに、宇宙規模の戦争準備になっている。そんなことをして一体誰が喜ぶのか、日本はなくなってしまうのではと、不安になりました憲法 9 条があるからこそ、今までアジアの中で日本は大きな衝突をおこしていない。これからも、9 条を守っていく声を広げていくことが大切だと思いました。種子島のすぐ西の小さな島馬毛島に、膨大な自衛隊基地が建設されるのにはびっくりしました。意外と鹿児島県本土とも近い。

★長崎県連のボールペンと署名用紙をセットで配布する取り組み、商店街の大型スクリーンに、民医連の 9 条 アニメをうつしだすととりくみなど、とってもユニークで、行動力にびっくりしました。やっぱり、平和を守る取り組みは楽しく取り組みたいです。



香川民医連会長 大西和子